

大切な家族の命を守るために

いまでできること



地 震や台風、竜巻などの自然災害は、時として、想像を超える力で襲ってきます。しかし、日頃から防災対策をしておくことで、被害を少なくすることはできます。大切な家族の命を守るために、年末のこの機会にご家庭でできる防災対策について、家族で話し合ったり考えてみてはいかがでしょうか。

暮らしや命を守る

3つの「助」

災 害による被害をできるだけ少なくするためには、家庭で日頃から災害に備えたり、災害時には事前に避難したりするなど、自分で守る「自助」。地域の災害時要援護者の避難に協力したり、地域の方々と消火活動を行うなど、周りの人たちと助け合う「共助」。市役所や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、公的支援「公助」が重要だと言われています。

災害時には、自助・共助・公助が互

いに連携し一体となることで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながるものとなります。その中でも基本となるのは「自助」、一人一人が自分の身の安全を守ることです。特に災害が発生したときは、まず、自分が無事であることが最も重要です。「自助」に取り組むためには、まず、災害に備え、自分の家の安全対策をしておくとともに、家の外において地震や台風、竜巻などに遭遇・発生したときの身の安全の守り方を知っておくことが必要です。さらに、災害用伝言ダイヤル「171」の利用も重要です。家族間の安否確認や集合場所の連絡などに利用することができます。

また、身の安全を確保し、生き延びていくためには、水や食料、衣類などの備えをしておくことも必要です。そこで、災害時に備えた備蓄品の例を紹介します。

ライフラインの停止や避難に備えておく

大 災害が発生時に、ライフラインが止まっても自力で生活できるよう、普段から飲料水や非常食などを備蓄しておくことが大切です。また、避難所生活に必要なもの(非常用持ち出し品)をリュックサックに詰めておき、いつでもすぐに持ち出せるように備えておきましょう。

災害時に備えた備蓄品の例

- 飲料水 ▶▶一人1日3リットルを目安に、3日分を用意
- 食品 ▶▶ご飯(アルファ米など一人5食分を用意)、ビスケット、板チョコ、乾パンなど、一人最低3日分の食料を備蓄しておきましょう。
- 下着、衣類 ●マッチ、ろうそく ●カセットこんろ
- トイレットペーパー、ティッシュペーパーなど

※非常に広い地域に被害が及ぶ可能性のある南海トラフ巨大地震では、「1週間分以上」の備蓄が望ましいとの指摘もあります。

※飲料水とは別に、物を洗ったり、トイレを流したりするための水も必要です。日頃から「水道水を入れたポリタンク」「お風呂の水をいつもはっておく」などの備えをしておきましょう。

非常持ち出し品の例

- 飲料水 ●ヘルメット、防災ずきん
- 食料品(カップめん、缶詰、ビスケット、チョコレートなど)
- 貴重品(預金通帳、印鑑、現金、健康保険証など)
- 救急用品(ばんそうこう、包帯、消毒液、常備薬など)

【政府広報オンライン】ホームページ参照

賞味期限などに注意！！

こういった備蓄品に対して注意したいのが、しまい込んだままにしないということ。万が一のときにライトが点かない、あるいは賞味期限が過ぎてしまったことがないよう、折を見てチェックしておきましょう。特に非常食や飲料水は口にするものだけに、より注意が必要と言えます。

特別警報の運用が始まっています！

気象庁では、重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。周囲の状況や市から発表される避難指示・勧告などの情報に留意し、ただちに命を守るための行動をとってください。

市防災訓練を実施



11月17日、南中学校をメイン会場に市防災訓練が行われ、災害対策本部設置訓練や広報訓練、参集訓練、避難訓練などに874人が参加しました。メイン会場では、初期消火訓練や煙体験、非常食の配布、避難所生活での講習会などが行われ、参加者は災害発生時に生かすべく体験型訓練を行っていました。

子どもたちも消火訓練



11月19日、やまゆり館で消火訓練が行われ、子育てサロンを利用している親子が参加しました。本物の消化器ではなく、水消化器での消火訓練や煙体験ハウスで火災体験をしました。参加したお母さんは「保育園に通っていない子たちも消火訓練を体験でき、とてもいい機会になりました」と話してくれました。

少年消防クラブ体験学習



志筑小学校の少年消防クラブ員6年生11人が西消防署で体験学習を行いました。放水訓練では、20メートルホースを伸ばしたり巻いたりする訓練と実際に放水して水圧を体験しました。また、救助訓練では、ロープ結びやロープ渡りの体験をしました。少年消防クラブの一員として、いい体験になりました。

→千代田庁舎に対策本部

→消火訓練する参加者

→水圧にびっくり